

熊本「新老人の会」

会報



会 長 小山 和作

事務局長 久米野 安俊

〒861-2234

熊本県上益城郡益城町古閑312-2

TEL/FAX 096-221-5113

発行 2020年1月

No.77



江津湖より望む初日の出（1月1日7時33分 平川 寛会員撮影）

目次

☆2020年 新年号	表紙	☆会員文芸	9
☆巻頭言	1	☆寄稿文	10～11
☆子年 年女・年男の抱負	2～5	☆小野さん追悼文、編集後記	12
☆地域グループ活動、令和養生塾	5	☆事務局通信	13
☆誕生会、城下町を歩く会	6	☆サークルの予定	14
☆忘年会	7～8	☆広告欄	裏表紙

巻頭言

危機感の中で迎えた2020年

会長 小山 和 作



記念すべき2020年を迎えるにあたり想いの一端を述べたい。21世紀が二十歳の成人

を迎える。この年にオリンピックが開催される。その意義は極めて大きい。しかし今、世界を見渡すに、深刻な危機感を覚えるのは私だけではなからう。先の大戦が終わって75年、どうにか平和が続いた。しかし、第2次大戦の経緯を見ると、まず世界の恐慌にはじまり、大量の失業者が生まれ、世界の国々は自国優先の機運が高まり、国際秩序が破綻し、戦争に突入した。今日の世界は米国の大統領に代表されるように正に自国優先思想が世界中に広がっている。1930年ごろの大戦前の世界と酷似している。識者は論じている。

しかし、彼の大戦を体験した者はなくなり、戦争を知らない世代が世界を動かしている。これも危険なことである。

もう一つは、世界中に格差が広がって

ること。世界のトップ富裕層26人の資産は153兆\$といわれ、それはアフリカ貧困層38億人の資産に相当するという。世界中に貧困と分断が広がっている。我が国でも、子供の7人に1人、単身女性の3人に1人が貧困と言われ、3世帯に1世帯は貯蓄ゼロで、G7の中で第2位の貧困国と言われている。更に、世界的にこの貧困が格差と分断を呼び、紛争につながっている。今だに、17の国と地域で紛争が続いている。その紛争がまた貧困を強め、数百万と言われる難民をつくりだしている。これらの人々のいのちは実に軽く扱われている。

このような時に世界中で市民の大規模のデモが広がっている。香港で見るとようなデモはフランス、レバノン、チリ、ベネズエラ等40数か国に及ぶと報道されている。世界中に不安と不満が広がり、国際的にも、国内的にも格差と分断が拡大していると言える。

昨年11月24日、13億人の世界のカソリックの頂点にあるフランシスコ・ローマ教皇が来日、長崎と広島で、核なき世界の実現を訴えた。「武器製造はテロ行為」とまでいい、世界に平和と命を守る運動を呼び掛けた。

また思い起こせば9月23日、国連の「気候行動サミット」で16歳の少女グレタ・トゥンベリさん（スウェーデン）が将来を担う世代を代表して世界各国の指導者を前に「温暖化対策の即時実行」を強く訴えた。「私たちは絶滅に差し掛かっているのに、あなたがたが話すのは金と永遠の経済成長というおとぎ話だけ」「私たちを失望させれば決して許さない」と堂々と講演した。これに呼応して世界中の若者たちが52の国と地域でほぼ400万人のデモを行ったと報じられている。

また、2019年は平成から令和へと年号が変わり、新しい天皇を迎えた。前の平成天皇は戦争や天災による命を犠牲にされた人々に深く思いをかけられ、慰霊と慰問・激励の旅を繰り返しされた。昭和時代の戦火に思いを馳せられ世界の平和を最も願われたと思う。令和の天皇もこの思いを継いでいかれると考えるが、世界の平和と言い、地球温暖化防止の問題と言い、今や一国一民族の問題ではない。世界が一つになって考えねば出来ないこと、世界中の指導者はそのために知恵と力を出して欲しい。いや地球上の全ての人類が立ち上がらねばならない時だと考える。

子 年 年女・年男の 抱 負



令和 2 年



ゆつくり子年

加藤美保 (71)

年賀はがき買わなきゃあと思つて来年は干

支、何だったかなと考えたたら「子」だと気づきました。ありやりや六周したんだと感慨深く、一入^{ひとしお}浸りました。70歳過ぎてから、じつとしてられない、進んですることを少し止め、ゆとりをしようと決めました。空、山、鳥、草木などを眺めるのが好きなので、ゆつたりと見るように心がけたいと思います。



還暦を目前にして

江浦 誠 (59)

昭和35年10月生まれの私は、この令和2年に還暦となります。

数年前、サポート会員資格で入会させて頂きたかった理由はと申しますと、私が生まれ育った天草西海岸の人々の現状を見た時に、「いつかは熊本市内でもこんな時代

が来るのだろうか。こんな時の皺寄せはいつも子供と高齢者。ならばこの方々のお役に立てる事を出来ないものか。」という想いからでした。どうぞお見知りおきくださいませ。



毎日を大切に

加藤美寧 (71)

今年^こは令和になって初めてのお正月です。子年も十二支の中で最初に数えます。それだけの事ですが何だか心弾みます。

しかし、6回目の年女ともなると心身の衰えを自覚し不安を感じるようになりました。

新老人の会の先輩方にお会いすると素敵に歳を重ねていらつしやるので、私も先輩方^{先輩}を目標に、明るく毎日を過ごして良い歳をとっていききたいと思ひます。



世界平和を願ひ

生きている

石原照枝 (83)

私は戦後75年、83才になるまで『一日一生』の思ひで生かされています。日野原先生の言葉に感動して2

005年9月に入会いたしました。

その頃熊本^{熊本}の会員数は50人程でしたので福岡支部の方々と合流して会合に参加させていただいておりました。熊本支部を作りたいという強い思ひから100人ほどに増やし、やつとの思ひで支部を結成しました。現在は200人を超えているとのこと、日野原先生はお旅立ちになりましたが、天国で見守り下さっていると存じます。

私も世界平和を願ひ、原爆により残酷な死を遂げた人々の「語り部」として命の限り活動したいと思ひます。あと何年生きられるか分かりませんが、昨年の3月に原爆投下の記憶を風化させない為に「戦争のない世界を願って長崎被爆を語り継ぐ」紙芝居を二世と共に制作することができました。感謝あるのみでございます。

私は子供に恵まれなかつたので二世、三世たちへ引き継ぎ世界平和の実現のために頑張りたいと思ひています。



老いを前向きに毎日

日を感じて

渡辺ルミ子 (83)

いつの間にか我家で一番の長寿になった。

子供の頃は戦争、食糧難、ぜいたくは敵と云って育てられた。

多くの人の犠牲によって平和な毎日がやってきた。

年をとったからといって甘えてはいけない。出来ることはする。

そして若者のお荷物にならないように、日々身体に気をつけて生きる。

日曜日、教会の礼拝出席

水曜日、英語の勉強

こんな日常生活が送られて幸せである。



今年の抱負を
一文字に込めて
小山昌子（83）

わが家では孫からの提案で元日にそれぞれの抱負を漢字一文字に記し、その思いを話すことが習わしとなっています。今年は平和の祭典オリンピックが日本で開催される記念すべき年です。この時こそ世界中の人達に被爆地の広島、長崎を訪れてもらい戦争の悲惨さ、平和の大切さを肌で感じていただきたいと強く願っています。

最近人を人と思わない残酷な事件が身近

に起こっています。皆が手を繋ぎ輪(和)をつくり、笑顔に満ちた社会を願ひ、私は今年の一文字を“和”としました。日々胸に刻んでいきたいと思っています。



子供のころ
坂西章五（71）

明けましておめでとうございます。私は1948年、みかん農家の五男として生まれました。家に車はなく、馬が運搬用としておりました。とても懐かしい思い出がします。

それから71年、私の人生は失敗の連続でした。でも子供のころ、両親が躰けとして言っていたことを想い出しながら毎日を暮らしております。これからも皆さま宜しくお願いいたします。そして会員の方々にとつて、2020年が良い年でありますようお願いいたします。



血糖値を正常値に戻したい
円城寺勝幸（71）

今年はおリンピックの年。私は70才になった時、新老人の会に

加入しました。この前はさわやか大学院、その前はさわやか大学、そこでの生活を通して、コミュニケーション向上、サークル活動を体験し、自分の外に関係する事柄を充実させようと行動してきました。

これまで大病もなく順調な人生と思っていましたが、最近「血糖値が高い」と指摘された。今年は生活を充実させ、運動不足を解消して血糖値を正常値に戻したい。

オリンピックは「速い、強い」が優先されますが、私の場合は「遅く、低く、ねばり強く」を心がけたいです。そして主治医から「頑張ったですね」と言われたい。



あけましておめでとうございます
牛嶋邦子（71）

2020年オリンピックの年です。そして私の年です！

今年は、今日行く・今日用をモットーに、熊本「新老人の会」の元気な諸先輩を目標に、一日一日を楽しく、明るく過ごしていきたいと思っています。

皆様よろしくお願い致します。



私の宝 三十年

木村純子（71）

平成2年2月28日、私の誕生日の日に上通の片隅で「ラ・モード二二八」と名付けた小さなブティックを開いて令和2年で丸30年、お客様に支えられ、おかげ様で健康に恵まれ、家族に支えられてやってまいりました。本当に有難い事と感謝の言葉しかありません。

これから後10年頑張つて行く所存です。お客様お一人お一人を大切にして、楽しく健康で何事にもチャレンジ、悔いのない人生を楽しんで生きたいと思っています。

今は亡き両親と姉に感謝！

交通事故から

立ち直つて

渡辺信夫（71）

私は今年、年男です。

72才になります。昨年は1月9日に交通事故に遭い5ヶ月入院し、現在もリハビリ中です。生きていて昨年ほど命の有難さ、家族の支え、親戚や友人の励まし、身にしみました。

今年からは一日一日を大切に行動し、趣

味やボランティア等に頑張つて行きたいと思っています。これからも健康づくりに重点を置き、介護にならないように心懸けて、又、孫2人の成長を楽しみに元気で長生きしたいと思っています。



平和の種蒔き、続けたい

俵 恭子（71）

2019年12月半ば、

96歳になる母の念願であった故郷台湾を再訪問する旅に行つてまいりました。車椅子持参で熊本―高雄間直行便、観光バス、新幹線を乗り継ぎながら、3泊4日で台湾を縦断するというハードなツアーでしたが、メデイサポライフの介護者の支援を受け、行く先々での観光や食事、現地高齢者との出合いを楽しみながら、何とか無事に思いを果たすことができました。

1923年2月、日本統治下の台湾・台中市に生まれ、敗戦とともに一家で姫路に引き揚げ、2年後熊本に嫁いで苦労を重ねてきた母の72年の歳月は、2020年72歳、年女を迎える私の人生とそのまま重なり、命をつなぐ人の生の営みが大変におしく感慨深く思われてなりません。

母の子供は3人、孫9人、ひ孫12人それぞれが与えられた生を大切に、互いを思いやりあいながら幸せに暮らせる世の中でありますように願つてやみません。

昨年、テロに遭つて亡くなられた中村哲さんが遺された言葉「憲法は実行するものです。」を心に刻みながら、私にもできる平和の種まきを続けたいと思います。



生活習慣を見直す

中島和夫（71）

令和最初の正月の干支が十二支の「子」ということで私は良いスタートと感じます。

昨年の『令和養生塾』には5回とも参加しました。

食により日々健康生活をし、心も元気で老いと前向きに生きましよう、とのことでした。健康寿命女性75才、男性72才です。私は昨年から急に腰・右膝・指・前立腺と次から次と「ガタ」が出て来ました。

得た言葉

教養Ⅱ今日用事あり。

教育Ⅱ今日行く。出かけると運動不足が解決する。今年の目標です。

感謝



水田由美子（71）

除夜の鐘を聞きながら、1年間家族が無事に過ごせたことに深く感謝をし、新年を迎えます。みんなでおせち料理を囲んで、どうぞ今年も健康で無事に暮らせますようにと願い、祈りの気持ちでスタートです。

毎年自然とこんな気持ちの繰り返しで、今年は私の干支の大黒様のお使いのねずみ年です。私にとっては今年も家族が無事に過ごせれば100点満点の感謝です。

（記事の配列は原稿到着順といたしました）

《地域グループ活動報告》

『西城会』発足

中島和夫（71）

地区グループ委員会の勧めで西城区会合を経て第一回例会を11月29日金曜日に市役所14階レストラン「彩」で開きました。13組（16名）の内12名参加です。見晴らしの良いレストランの窓からは熊本城や金峰山を眺めて始まりました。

先ず自己紹介をして「新老人の会」のサークル・教室への参加等々の活動の話に家庭菜園の話でした。

新名称は多数決で西城会（せいじょうかい）に決まりました。

気候が良くなりましたしたら、お出掛けしましようにの話で盛り上がり楽しい食事会でした。

決で西城会（せいじょうかい）に決まりました。



『中南会』第2回会合

山内良一（84）

熊本市の中央区南部と南区北部のそれぞれ一部地域からなる中南会の2回目の会合を11月23日（祝）に開催しました。場所は前回と同じ、辛島町の東急レイホテル地下1階にある「雑魚屋」、今回は前回出席の北里敏明、宮本誠治両氏が都合で欠席でしたが、新たに山崎芳徳氏と渡辺勲・喜代子ご夫妻が出席され、後は前回

と同じ顔ぶれの計8名の参加者でした。

改めて自己紹介しお昼の御膳を囲んで歓談しました。人数が丁度良いのか大いに話が弾み2時間はアツというまででした。今回、ウツカリして写真を撮り忘れてしまいました。申し訳ありません。

☆ 令和養生塾を終えて ☆

原口裕子（83）

5回シリーズで実施しました健康講座、皆さんのご協力で終わる事ができました。講師の小山先生、二塚先生、尾池先生から健康長寿で生涯を送っていく為の必要な知識を数多く学ばせて頂きました。

第5回「老いを前向きに」と題しての尾池雄一熊大教授の講演では、健康長寿は遺伝で決めるものではない。毎日の生活のあり方、その積み重ねで自立した生活環境から決まるようです等の話がありました。

健康は自ら守る精神力と努力のみ！どうしても通らねばならぬ老いの道、皆さんどう生きていかれますか。

健康長寿から幸福寿命と悔いのない人生を送れますよう。

令和養生塾 ありがとうございます

10・11・12月 生まれ 誕生会

令和元年11月11日。私は11時に会場に入り

令和元年11月11日
メルパルク熊本

小山会長は「今日は

ました。1
が7つも並
ぶ数奇な佳
き日に、こ
の世に生ま
れた事を喜
び合い、会
も会員も益
々元気に頑
張っていき
ましょう。」
と活力が生
まれるご挨拶
でした。
原口副会
長の一五一
会の伴奏で
誕生日の歌
を歌い、中
川会員のギ



ター弾き語りがあり楽しい雰囲気になりました。

境聰子さん(96)は手芸が趣味で、手作



弾き語り
ギター
中川会
員

りの花瓶カバーと造
花が各テーブルを華
やかに飾り、毛糸編
みのペットボトルカ
バーをプレゼントし
て下さいました。

参加者31名のスピーチでは、皆さんそれ
ぞれに有意義に過ごしていられしやる様
子が垣間見えました。

小山会長、「令和11年11月の誕生会にもお
元気でご参加ください。」(文責 加藤美寧)

「城下町を歩く会」に参加 しました。

霧山幸子(72)

11月23
日(土)、

「城下町

を歩く会」に参加しました。天候にも恵ま
れて楽しい2.7kmでした。

藤崎宮に集合して同社の説明を聞いた後
近くの漱石旧居を観ました。ここは当時の
住宅がそのまま遺っていて、漱石の俳句「鶯
も柳も青き住居かな」、「菜の花の隣もあり
て竹の垣」の2句が標柱に書いてありまし

た。すぐ近くに
相撲の「吉田司

家跡」があり、

跡地にはマンシ

ョンが建ってい

て、コンクリー

トの壁面に説明

板が貼り付けて

あり、そこに第

49代横綱、東富

士欽壺まで免許

を与えたと書いてありました。



「貧児寮」…明治25年頃塘林虎五郎が創立した児童福祉施設。
現「大江学園」の前身

次に国道3号線を渡って坪井に入り長
柄町、御弓町、合羽丁など下級武士が住ん
でいた町筋の説明を聴き、報恩寺では、「け
ふも托鉢ここもかしこも花ざかり 山頭
火」の句碑を観ました。また壺井から坪井
町が起こり、壺の形をした井戸に面白い伝
承があることを知りました。

立町通りから赤鳥居を潜って閻魔さん通
りに出て見性寺に立ち寄り、本堂に上がつ
て住職から「禅問答」の話を聴きました。

莫蔭打町、塘林虎五郎の「貧児寮跡」等
を観て、最後に仁王さん通りの正福寺で写
真撮影して終了となりました。

忘年会の報告

佐藤武敬 (85)



令和になって初めての、さらには新組織の発足後初めての忘年会が、12月9日(月)メルパルク3階「中岳」の間で開催されました。

定刻の11時30分を少し廻ったところで、寒い中に参加された98名に対する謝辞を含めた久米野事務局長の開会の言葉の後、この1年間に亡くなられた3名の方に黙祷を捧げました。

開会の挨拶の中で山内副会長は、鹿児島「新老人の会」から参加の濱矢事務局長を紹介し、この忘年会を小山会長が提唱される10個の行動規範の中の「多接」を実践する機会にしようと述べ、現在進めている地域グループの結成を促進する

一助とするため、本日の配席は概ね地域ごとに分けている旨説明しました。

「新老人の歌」と「熊本新老人の歌」を皆で歌った後、小山会長の挨拶があり、この中で本日のメインイベントに出演する宝塚出身の姫由美子会員と、当会第2回公演の「太平洋に架ける虹」でジョン万次郎を助ける船長役を演じたシャービス会員の紹介がありました。



ここでいよいよ姫由美子さんによるミニコンサートに入りました。会場の全員

が前方の演壇を注視する中で、会場の後方から「^{すみれ}葦の花咲く頃」の歌声と共に姫さんが登場しました。在りし日の日野原重明先生との交友や、消失した首里城への思い等のトークを織り込みながら歌われた曲目は、昭和の歌メドレー、美空ひばりの名曲、沖縄の歌、越路吹雪の曲と多岐に亘り、最後にアンコールに込めて「ケサラ」を歌い、その後方へ退場しました。その演出は見事なもので、豪華なランチコンサートを楽しむことができました。

以上で前半の部は終了し、後半の会食・懇談は江浦会員、^{ちよう}趙会員による手慣れた進行で進められました。



乾杯の音頭で鹿児島島の濱矢事務局長から、NPO法人化した経過を伺いました。

ここから余興に入り、まず西川会員夫妻に助演の二人を加えた一座による民謡では「無法松の一生」を挟んで肥後と日向の民謡が紹介され、さすが全国優勝と思われる豊かな声量で会場を唸らせました。

続いて中川監事によるギター弾き語りでは「湯の町エレジー」、カラオケ同好会の合唱は「振り向かないで熊本の人」他、原口副会長とKATAROSTAFFによる一五一会演奏は「幸せなら手をたたこう」他、童謡・唱歌を歌う会の合唱は「手のひらを太陽に」他と熱演が続いた後は飛び入り参加となり、シャービス会員「シェークスピアの詩」、濱矢事務局長「サントワマミー」、山内副会長「サウスオブザボーダー」、久米野事務局長「この街で」、近田会員「アベマリア」と続きました。

ここで残念ながら定刻の14時30分が来てしまい、安藤副会長が「いやな事を忘れて新しい年を迎えよう。しかし敗戦後75年は決して忘れてはならない。」と締めくくり、閉会となりました。



忘年会に参加して

円城寺勝幸（71）

令和最初の忘年会は小山会長を含め98名の参加で盛大に開催されました。昨年は日野原重明先生のご活躍、数多くの思い出等の映像で拝聴しましたが、今年は熊本ご出身の元宝塚劇団の姫由美子さんのミニコンサートが圧巻でした。上を向いて歩こう、リンゴ追分、沖縄の歌やシヤンソンなど11曲を熱唱され、澄み切つ

た声、張りのある上品な声に聞き入り、時間の経つのも忘れる感動した忘年会でした。

忘年会に参加して

島尻順子（60）

私は東区長嶺南に住んでいます。新老人の会へのご紹介は中川久様です。

今年還暦を迎え、初めて忘年会に参加させていただきました。会の皆さんが平均年齢80歳を越えているとお聞きしてびっくりしている次第です。

特に「姫由美子様のミニコンサート」は、とても70歳を越えているとは思われない素晴らしい歌声でした。感動致しました。又、会場には顔見知りの方も沢山いらして、楽しい一時を過ごさせて頂きました。有り難うございました。



シェークスピアの詩を朗読する
シャービス会員

会 員 文 芸

川柳 12月例会 古閑 萬風選

紅つけてはらはらと散る柿落葉 鬼塚和子
 暖簾分け親父に勝つて恩返す 森上裕子
 壁の蔦青々繁り球児待つ 加藤美寧
 はらはらと電車を追つて散る銀杏 林田光生
 初心者に命あずけてはらはらと 久米野郁子
 はらはらと落ち葉が舞つて秋を呼ぶ 山口玲子
 言葉の壁身振り手振りのもどかしさ 高橋純子
 忘れないライバルは皆宝物 石原照枝
 マイナンバーはらはら探す受験生 谷山律子
 はらはらはほどほどにして恙なし 十時貴子
 若き日はライバル立った今は友 江藤恵子
 ラクビーの鉄のスクラム壁となる 西村文夫
 受験生厚い壁超え希望校 生森美代子

俳句 12月句会 山澄 陽子選

冬日和あやとりを又せがまるる 岩城小夜子
 シャンパンの泡のはじける降誕祭 〃
 書淫の眼ポインセチアのあらけなく 平川礁舎
 軋み出る路面電車や霜の朝 〃
 咳をする人からそつと向き変へる 佐藤武敬
 最年長になつてしまひし忘年会 〃
 聖歌隊夜のとぼりの街進む 柳水 興
 クリスマスネオンの競ふ商店街 〃
 忘年会久々の顔酒すすむ 木村純子
 底冷えの事務所に懐炉持つていく 〃
 慈善鍋素通りしたる寒さかな 澤田安月子
 養護児の搗きし紅白餅やさし 〃
 冬蝶の魂ぬけて止まりさう 小林優子
 クリスマスひとり口笛月の空 〃
 食つて寝るただそれだけの冬に入る 近田綾子
 一人居のテレビ雪降る画面かな 〃

短歌 会員歌人詠

中川 千鶴
 九十九折登りつめたる峠茶屋
 木の間がくれに街の灯の見ゆ
 日本晴れ小菊なれども満開の
 黄金香ぐはしけふ文化の日



鶴亀句会メンバー
 後列左から 平川、岩城、小林、
 木村、澤田、佐藤、
 前列左から 柳水、山澄先生、近田

「富士登山の思い出」

堀 吉雄 (86)

私は若い頃よりの山男の端くれで、富士山に憧れ一度は登頂してみたいと夢見ていました。還暦を記念して平成五年八月にJTB主催の富士登山ツアーに参加し遂に実現しました。

花の独身の頃に山岳会に入会し阿蘇五岳等の九州の名山に毎月2回は山仲間と登っていたので自信はありました。

貸し切りバスは五合目の山小屋に到着。売店にて携帯酸素ボンベとミネラルウォーターを求め、青年ガイドの登山のアドバイスを受け、参加者一同勇躍して出発する。

しばらくはハイキングコース程度のなだらかな坂道であったが、七合目より急な上り坂が続く、だんだんと空気が薄くなり気圧もかなり下がって、ツアー仲間が高山病に罹って女子供達は次々とリタイアが続出して半数程度に減ってしまう。

そんな状況でも私は昔とった杵柄で何とか八合目の山小屋に辿り着く。

夕食は山小屋で支給され、平地は真夏と

いうのに、外はまだ雪が残り0度以下で震えが止まらなかった。

八月は登山ラッシュで山小屋は超満員。

着替えも登山靴も履いたままの身動き一つできない雑魚寝での約三時間の仮眠なり。うとうとしただけで翌朝三時頃に起床。まだ真暗闇の中をヘッドランプを頼りに山小屋を出発する。しかし空気は益々薄くなり、気圧も下がり、息遣いも荒く心臓が飛び出す程のハーハー・フーフーの連続であった。

狭い登山道の端っこにしゃがみ込み、小休止してタバコを一服しようとライターを何度もこするが遂に火がつかない。マイッタ・マイッタ。

私も高山病に罹ってしまい足下がふらつきだし、目の前が暗くなって、もう体力の限界、何度もリタイアを考えたが、軍国少年時代に叩き上げられた「大和魂」を思い起こし、もう此処まで来たら男の意地と、あとは精神力だけで富士山頂上をどうにか極める事が出来た。

山頂の売店の接待の一杯の熱い日本茶が実に美味しく、生き返ったような正に値千金で、マッチを借りてのタバコの一服でホッとする。

下山は別コースで七曲りの急勾配の下り坂が果てしなく続き、バラス敷きの為何度も滑り尻餅をつき、遂に足腰を痛めてしまいが、どうにか仲間の集合地に約30分遅れてやっとたどり着く。

途中の九合目でキラキラと輝く雪海を従えて、ゆつくりと姿を見せた「御来光」を拝み、みんな同時に万歳を唱え称えるのであった。

今でもあの御来光は忘れがたく、時々夢の中に現われる。

下山後バスにて白糸の滝を見学し、その日は「石和温泉」にゆるりと浸り疲れを癒す。

翌朝は達成感と満足感で一杯で晴れ晴れと無事に帰熊しました。グッドラック



卒寿の記念中国の旅 II

鬼塚和子（90）

18日は台湾領の馬祖島へ

馬祖島は小さい島だけど、この海峡はいつも風が強いせいか、その海難をなくすため、守り神として大きな大きな媽祖女神がそびえ立っている。真下にいる私たちは蟻のように小さく見えた。この島で一泊。



19日、朝食はツアーの人たちがいっぱいバイキングは思うようにとれない。

8時には予約してあったタクシーで島を一周して港に着けば、福州行きの船が濃霧のため欠航。霧が晴れることを祈り4時間遅れで出航し福州の新港に無事到着。

港にはリンさん夫妻が迎えに来てくれており、そのまま福州の開元寺（空海和



尚が修行した寺）に参詣できた。

寺のすぐ近くの珍しい魚介類等が100種類も並ぶバイキングレストランへ、お世話になったリンさんご夫妻も加わり賑やかな食事となった。珍しいのか夫妻は食材をどんどん持ってきて入れて食べているが、友人と私は疲れたのか少ししか食べられず、息子は折角なのにと恐縮しきり。

20日はリンさんの家でお昼の接待を受け一般の家庭の中を見せてもらい、普段の生活のお話も聞かせて頂いたが、子供の教育の凄いことに吃驚。午前学校で授業、お昼自宅、午後また学校で授業、帰って夕食を食べて先生の家で勉強、家では朝は5時に起きてすぐ勉強。そんな毎日のようです。

昼食後30分ほどで行ける連江の有名な温泉地へ案内された。山に囲まれ露天風呂が40〜50個はある温泉で、熱い、ぬるめ、魚と一緒にプールなどなど規模が大きすぎる。私たちは3カ所でやめた。

夜はリンさんの家族と屋台風海鮮レストランで最後の食事会、別れを惜しみ、明日帰る準備。

21日、福州空港へ、また飛行機の遅れで関西の日航ホテルに着いたのは10時、夕食は機内でもらったパンと冷蔵庫のジュースで済ませ寝に就く。

22日、モーニングコールで飛び起きた。日本語が通じる安心感か、朝食もそこそこバスに乗り関空より福岡へ。空港では友人の手配で車椅子のお世話になりスムーズに出口へ出た。熊本行きの高速バスもあまり待たずに発車、旅の終点熊本に着いた。8日間旅に慣れた友人の細かい配慮に感謝 感謝。

あまりにも変化発展が早い中国福州連江軒に脱帽。飛行機や船の遅れ、アモイの霧と雨に振り回されたが、思い出に残る8日間のいい旅が出来たことを配慮してくれた息子にも感謝です。

小野須磨子さんを偲んで

上村 真理子（66）

2019年11月5日、小野須磨子さんのご逝去に際し、心より哀悼の意を表します。新老人の会熊本支部は2015年「零の進軍」を発行、第37回熊日出版文化賞を受賞しましたが、小野さんなくては、この本の出版は無かったと聞いております。

小野さんが吉岡義一さんの膨大な戦争体験記を読まれ、2013年秋「戦争を語り継ぐ会」で心を込めて読後感を述べられたことをきっかけに出版の企画が立ち上げられたとのこと。さらに匿名で多大の寄付も戴き出版が赤字にならずにすんだとも聞きました。

著者の吉岡義一さんも、同年1月3日にご逝去されました。吉岡さんは、一兵卒として、中国大陸約1400⁺の道のりを歩き戦ったことを克明に記録されています。

私は、小野さんの薦めで、今年9月ご息の案内で吉岡さんのアトリエを、拝見することができました。さらに、小野さんが、私の為にご用意いただいた本や新聞などの資料をいただきました。厳しいご病状のなかで、私にして下さったことに感謝の気持ちで胸いっぱいになりました。短い間でし

たが、密度の高い時間を過ごさせていただきました。

「零の進軍」の原本である「湖南進軍（1）」に、吉岡さんは、「他人の目には価値のない、無駄なことをするのもかもしれない。しかし、いのちを込めておけば、必ずいつか誰かを動かす力が残るのだ」と書いておられました。小野さんは、命をこめた吉岡さんの体験記に、強く心を動かされたのだと思います。私も原本をみて、大変感動しました。魂が揺さぶられました。

小野さんは、かつて、有吉佐和子著の「複合汚染」を契機に、社会問題に関心を高め、積極的に社会活動をされたとのこと。菊池養生園の竹熊先生がたちあげられた「命と土を考える会」に参加、茶部会で吉岡さんと共に活動されたそうです。

そして小野さんが、最後に頑張られたのが、吉岡さんの戦争体験記を、世に出すことでした。お二人とも、本年旅立たれましたが、貴重な本を後世に残してくださいました。私は一人でも多くの方に読んでいただくことを願い、「零の進軍」を紹介をしていきたいと思えます。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

2019年12月19日

編集後記

カラーになつて2回目の発行です。表紙の題字に気づきましたか？ 小山会長の直筆です、幾つかの書体で書いて戴いた中からパソコンにない字体がいいとこれを選びました。

編集委員一同かなり緊張して編集作業に臨んでいます、カラーを意識してページの構成を考え、写真やカットの選択や配置等々…。編集の様子については前号の佐藤委員の編集後記に詳しく記されていますのでご参照下さい。

▼会報がもつと多彩になるよう会員の作品の投稿をお待ちします。従来の文芸作品の他に・写真・絵手紙等色彩のあるもの大歓迎です。文章の場合は800字程度にまとめて顔写真を添えて下さい。

▼会報の顔ともいえる表紙は70号以降牛嶋祐樹さんの編集。カラーになったきっかけも、紙面全体の構成・調整・印刷所への発注等も宮本誠治さんのご協力です。

変則ですが紙面の都合で編集後記がこゝへ来てしまいました。（A）

編集委員 安藤富士記 加藤美寧 久米野安俊
佐藤武敬 津川光星 中川久 平川寛 堀田耕三

事務局通信

事務局長 久米野安俊

【会員の受章者紹介】

「叙勲」

◇ 「瑞宝中綬章」 受章

北里 敏明 氏（70）

※「瑞宝中綬章」とは

国家又は公共に対し積年の功労あるものに授与する瑞宝章6つの中の3番目に位置する勲章で、中央省庁の部局で長を務めるなどの功績がある人に授与される。

「功労賞」

◇ 「若月賞」 受賞

藤野 紘 氏（77）

※「若月賞」とは、「国際農村医学会」の創設者である若月俊一先生の業績を継承する目的で、医療、保健、福祉分野の第一線で活動を続けている人々を顕彰するために制定された賞。

【新入会員紹介】

田中 英輝 様（86） 北区山室

翠 様（78）

鈴木 美代子 様（80） 北区清水万石

藤井 末津子 様（92） 東区長嶺西

宮本 英一 様（71） 中央区江津

岡村 豊信 様（61） 南区元三町

（入会順）

【訃報】

小野須磨子 様

令和元年11月5日 ご逝去（享年82）

心からご冥福をお祈りします

台掌

【2月～3月の主な行事予定】

■ 123日生まれ誕生会

日時…2月28日（金） 12時開会
会場…メルパルク熊本

※該当の皆様には、往復葉書でご案内し、出欠を伺います。

※ご夫婦同伴でのご参加、ご友人と同伴でのご参加も大歓迎です。

■ 第3回市民公開講座

日時…2月25日（火） 13時30分

会場…熊本県民交流館パレア

10階「パレアホール」

講演…熊本大学 三浦恭子准教授

「長寿の秘密に迫る」

～癌なし超長寿ネズミの実験から～

音楽…チャーリー永谷 氏

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

■ お花見会

日時…3月27日（金） 12時～

場所…熊本城内「二の丸広場」

※自由参加…飲み物、食事などは各自で準備をお願いします。（雨天中止）

お知らせ

忘年会に出席された皆様には、当日のスナップ写真及びテーブル毎の写真と同封しています。これは宮本誠治会員が撮影されプリントして寄贈頂いたものです。宮本会員はプロの写真家です。会の様々な行事の写真を撮影して、会報用としてご提供いただいております。会報のカラー化にもご尽力いただきました。

★ 熊本「新老人の会」 サークル・教室等開催予定 ★

サークル名	会場・時間	2月	3月	4月	5月	代表連絡先
カラオケ同好会	銀座通り水田ビル 地下1階「プレール」 13時～16時	毎月第3・第5水曜日				山内 良一 323－1253
戦争を語り継ぐ会	ウェルパルクまもと 14時～16時	24日 (月)	23日 (月)	23日 (木)	18日 (月)	安藤富士記 339－2537
童謡・唱歌を歌う会	県民交流会館パレア 10階 音楽室1 13時～16時	1日 (土)	7日 (土)	4日 (土)	2日 (土)	牛嶋 邦子 090-3664-1851
健康麻雀クラブ	銀座通り竹葉ビル3階 雀荘「憩」 13時～16時	毎月第4水曜日				津川 光星 090-8298-0101
俳句教室 「鶴亀句会」	県民交流会館パレア 第3金曜日 10時～12時	21日 (金)	20日 (金)	17日 (金)	15日 (金)	近田 綾子 352－6664
川柳教室	県民交流会館パレア 第5会議室 13時～15時30分	25日 10時から 12時	毎月第4火曜日			森上 裕子 352－9307
スポーツ吹き矢 クラブ	ウェルパルクまもと 10時～13時	4日 (火)	3日 (火)	7日 (火)	12日 (火)	原口 祐子 273－1788
オープンハウス 「KATARO」	井芹邸 第1水曜・第3火曜 13時～15時	参加希望の方は 5日前までにお電話下さい				瀧口 巖 381－7582
城下町を歩く会	新屋敷界隈	「大井出を歩く」 5月頃に実施予定です				平川 寛 367－1655
グランドゴルフ	係で計画し、4月会報でお知らせする予定です ご希望等がありましたら、係迄お寄せください					谷山律子 337－1201

※日時の変更の場合もあります。経費が必要な場合もあります。詳しいことは、各サークル・教室の代表にお尋ね下さい。